

# マルチクラウド環境のハブの利用

Qlik Sense Enterprise マルチクラウド演習

1.	Qlik Cloud Businessへの登録	2
2.	ハブ画面の確認	3
3.	アプリの作成	4
4.	アプリの共有	9
5.	アプリのリロード	10
6.	リロードのスケジュール	12
7.	アプリのお気に入りへの追加	13
8.	コレクションの作成	14
9.	他のユーザーの招待	16
10.	スペースの作成	18
11.	アプリのアップロード	20
12.	テナントの設定	22

# 1. Qlik Cloud Business への登録

ここでは Qlik Cloud Business の SaaS 環境を利用したハンズオンを行います。

- 1) 以下のサイトにアクセスし、指示に従って必要事項を入力して Qlik Cloud Business のテナントを作成してください。

<https://www.qlik.com/ja-jp/trial/qlik-sense-business>

コミュニティ Qlik Japan公認ブログ(Qlik Space)はこちら 日本語 (変更) 連絡先 ログイン 検索

製品 ソリューション 学習 サポート パートナー 会社情報 試す/購入する

## Qlik Sense® Business を無料でお試しください

強力なアナリティクスを簡単に利用できます。

安全なクラウド環境で Qlik の強力な連想エンジンを利用して、データをすばやく統合し、リッチでインタラクティブなビジュアルアナリティクスを作成できます。

- ✓ 複数のデータソースを簡単に関連付け
- ✓ データをドラッグ&ドロップして、完全にインタラクティブなアナリティクスアプリを作成

### 30日間無料トライアルを始める

すでに Qlik アカウントをお持ちですか? [ログイン](#)

名

姓

ビジネス用メールアドレス

会社

部門名

電話番号

国

[今すぐ登録](#)

- 2) テナントの作成が完了し、テナントにログオンを行うと以下のようなハブの画面が表示されます。

● 無償試用期間の残り日数: 30. [今すぐ有効化](#)

Qlik [ホーム](#) [参照](#)  [作成](#) [QS](#)

ホーム  
重要なコンテンツにすばやくアクセスします。

## Qlik Sense へようこそ

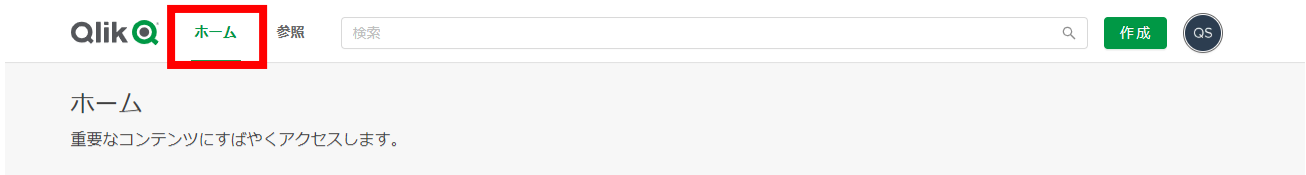
始める前に役立つリソースです。

- [オンボーディングハブ](#)  
手順ガイドに沿って操作します。
- [ビデオツアーを観る](#)  
Qlik Sense の紹介を観る。
- [ユーザーを招待する](#)  
メールを使ってユーザーを招待します。
- [Qlik ヘルプリソース](#)  
製品ドキュメンテーション、およびビデオにアクセスします。
- [Qlik コミュニティ](#)  
他のユーザーと繋がり、ディスカッションしたり共有したりします。
- [Qlik Support](#)  
アレックサベースを検索、またはヘルプを要求します。

## 2. ハブ画面の確認

まず、ログオン後に表示されるハブのサイト構成を確認します。

- 1) トップのホームの画面のには「Qlik Sense へようこそ」のセクションが表示されており、ここからチュートリアルや他のユーザーの招待画面に遷移することができます。「x」をクリックすると非表示とすることができます。



ホーム

重要なコンテンツにすばやくアクセスします。



- 2) スクロールダウンするとコンテンツとお気に入り表示のセクションが表示されます。現時点では初期状態となっていますので、ここにはまだアプリが表示されていません。

コンテンツ



コンテンツがありません。

作成したコンテンツはこちらから利用可能です。開始するにはアプリを作成、またはアップロードします。

アプリを作成、またはアップロード

最近のお気に入り



お気に入りはまだありません。

アイテムの星アイコンをクリックしてお気に入りコンテンツに追加します。お気に入りを非公開なコレクションに整理することができます。

お気に入りを追加

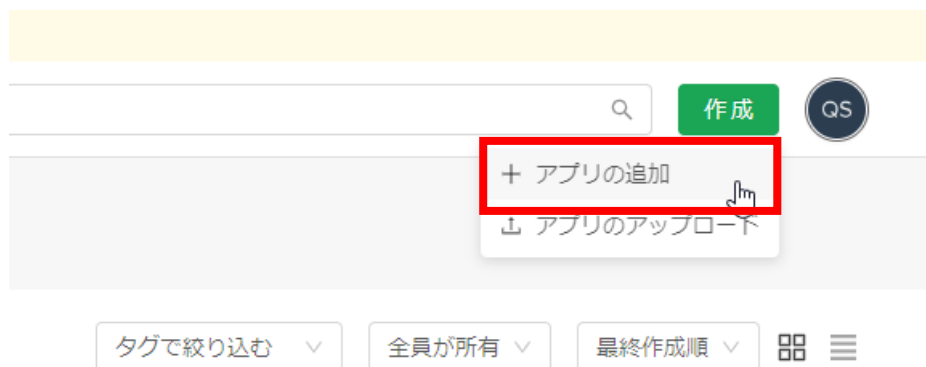
- 3) 次に「参照」タブをクリックします。このページではスペースと呼ばれる領域の単位ごとにアプリを管理することができます。ここでは「すべて」と「個人用」のスペースが既定で用意されており、それぞれクリックするとスペースが切り替わることが確認できます。



### 3. アプリの作成

新規アプリの作成を行います。

- 1) 右上の「作成」>「アプリの追加」をクリックします。



2) 任意の名前を入力し、スペースに「個人」が選択されていることを確認して「作成」をクリックします。



アプリの新規作成

名前  
MyFirstApp

スペース  
個人用

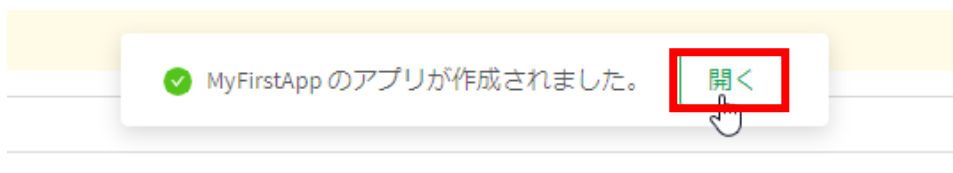
スペースへ移動

説明

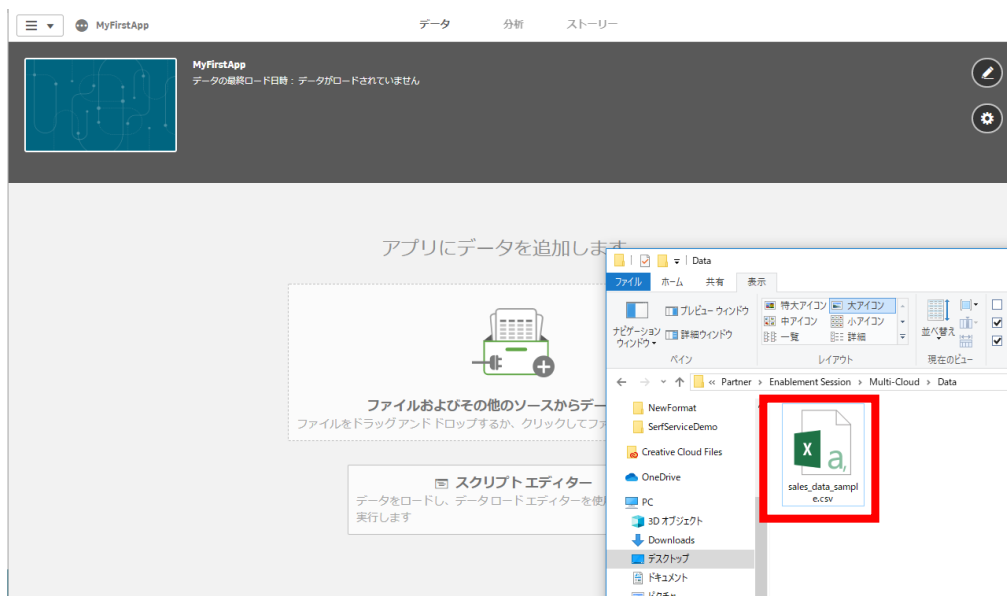
タグ

キャンセル 作成

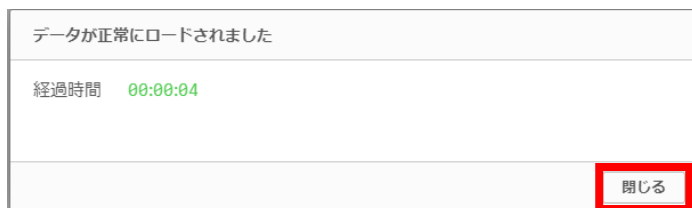
3) 以下のメッセージが表示されますので「開く」をクリックします。



4) ここでは PC 上にあるサンプルのデータセットをドラッグ & ドロップで追加します。



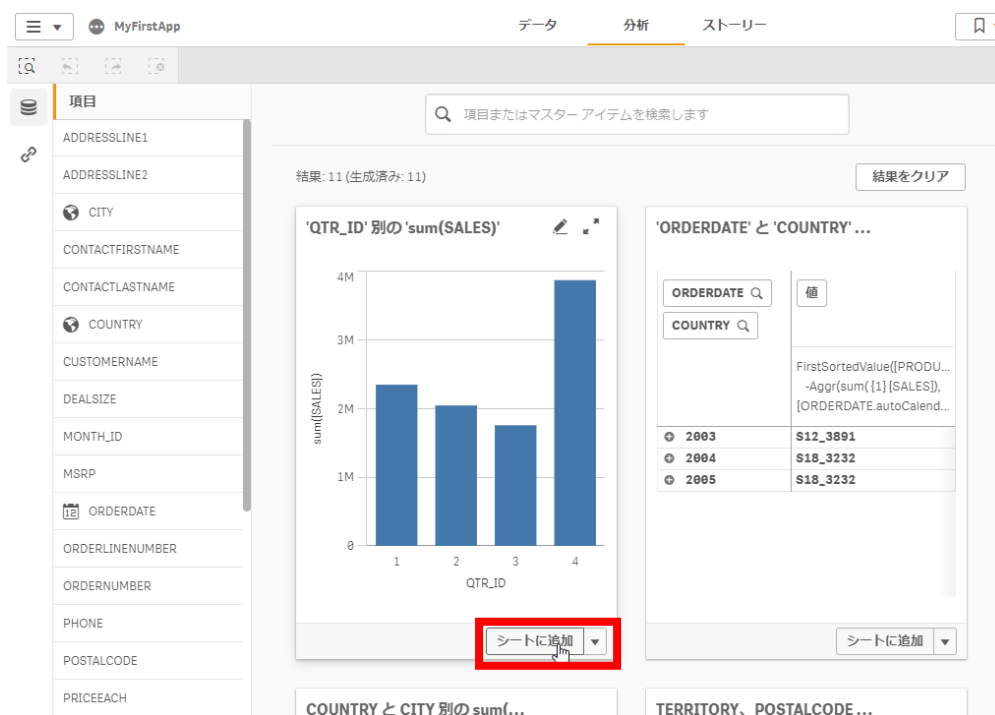
5) 「閉じる」をクリックします。



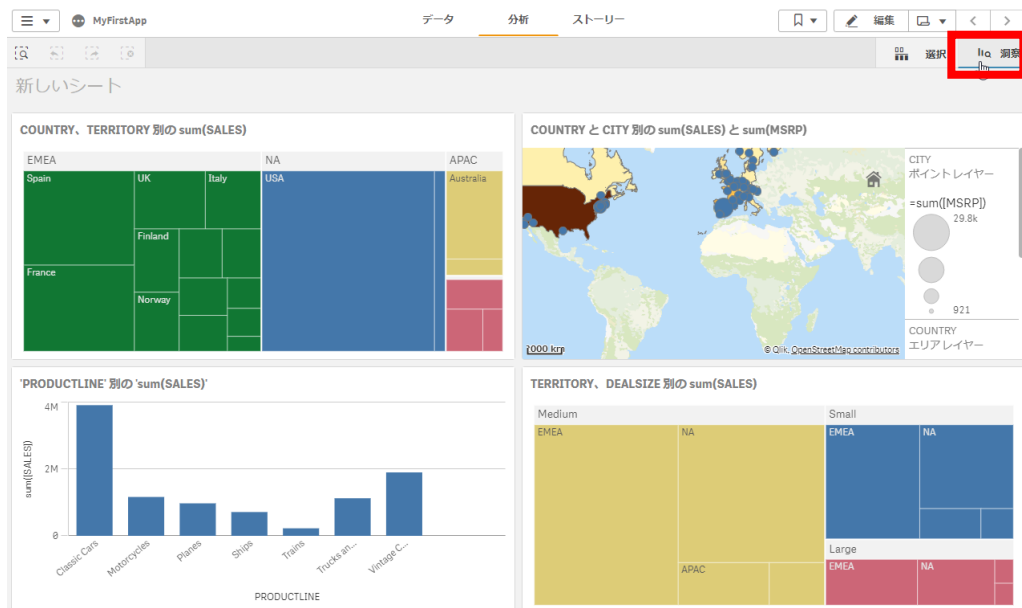
6) 「洞察を生成」をクリックして適切なチャートの自動生成を行います。



7) 任意のチャートの「シートに追加」ボタンをクリックして追加します。



8) 右上の「洞察」ボタンをクリックしてシートを表示し、選択したチャートが追加されていることを確認します。



9) 右上の「シート」アイコンをクリックすると「マイシート」としてシートが追加されていることが確認できます。





- 10) 作成されたシートの「詳細」アイコンをクリックしてタイトルを以下の通り変更し、変更を適用します。



- 11) シートを右クリックし、「公開する」を選択します。



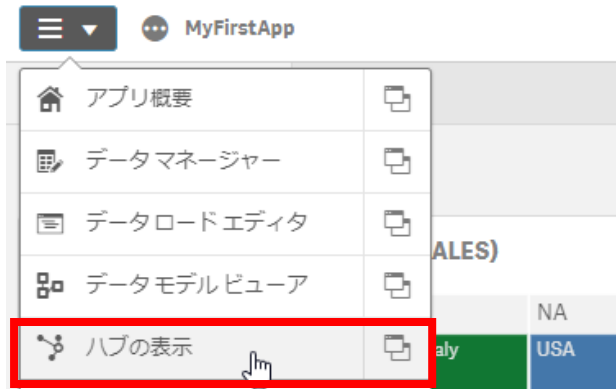
- 12) シートが公開されました。これによりこのアプリにアクセス可能なユーザーがこの公開シートを利用することが出来ます。



## 4. アプリの共有

作成したアプリは現時点では「マイスペース」に配置されており自分しかアクセスできません。次にこれを他のユーザーに公開します。

- 1) メニューの「ハブの表示」をクリックします。



- 2) 「参照」タブを開くと作成したアプリが表示されています。右下の「…」アイコンをクリックして「共有」を選択します。



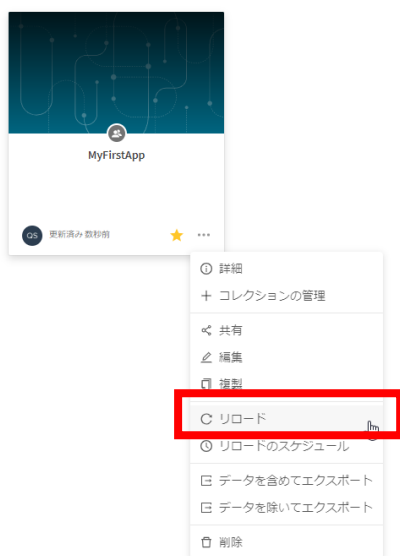
- 3) ここで共有する特定ユーザーを追加する、もしくはすべてのユーザーと共有することが選択できます。まだこの時点では他のユーザーが追加されていないので、ここでは「すべてのユーザーと共有」をオンにして「閉じる」をクリックします。これでこのアプリはこのテナントにアクセス可能な他の全てのユーザーに共有されます。



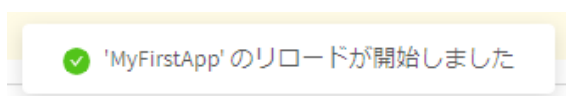
## 5. アプリのリロード

アプリのリロードを実行してデータの更新を行います。

- 1) コンテンツ一覧からアプリの右下の「…」アイコンをクリックして「リロード」を選択します。



- 2) リロードが開始すると以下のメッセージが表示され、完了すると完了のステータスに変わります。



3) リロードの状況や履歴を確認するには「…」アイコンをクリックして「詳細」を選択します。



4) 「履歴のロード」タブを選択するとロードの実行履歴が表示されます。

The image shows the '履歴のロード' (Load History) tab selected. It displays a table with the following data:

ステータス	開始時間	終了時間	期間	ログ
成功	2019年9月10日 18:17	2019年9月10日 18:17	4.476s	📄
成功	2019年9月10日 18:17	2019年9月10日 18:17	4.938s	📄
成功	2019年9月10日 18:15	2019年9月10日 18:15	5.094s	📄

5) 右上のメニューから「ハブ」をクリックしてハブへ戻ります。



## 6.リロードのスケジュール

次に手動でリロードを行うのではなく、リロードのスケジュールリングによるデータ更新の自動化を行います。

- 1) コンテンツ一覧からアプリの右下の「…」アイコンをクリックして「リロード」を選択します。



- 2) アクティブをオンにして繰り返し条件などを設定し、「保存」をクリックします。



## 7. アプリのお気に入りへの追加

頻繁に利用するアプリなどをお気に入りに追加することで、トップ画面のお気に入りスペースにアプリを表示させ、より容易に対象のアプリにアクセスすることができます。

- 1) コンテンツの一覧からアプリの★マークをクリックします。



- 2) お気に入りの一覧にアプリが追加されます。

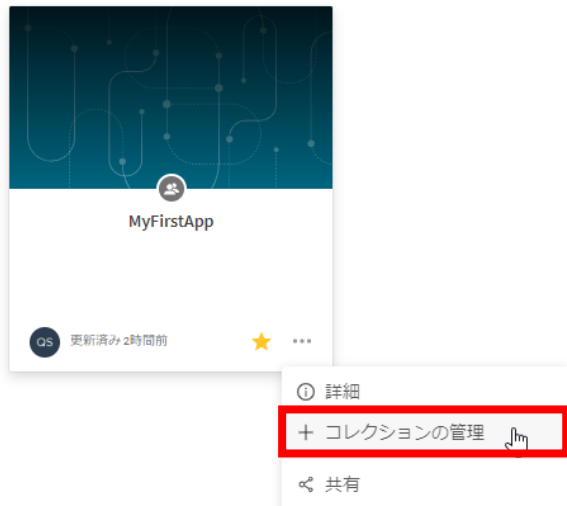
### 最近のお気に入り



## 8.コレクションの作成

お気に入りに追加したアプリケーションが多数になる場合などは、利用したいアプリを探すのが難しくなります。そのような場合、コレクションを作成してそこにアプリを追加し、アプリをグループ化して管理を効率化することができます。

- 1) アプリの「…」ボタンを選択して「コレクションの管理」をクリックします。



- 2) 「新しいコレクションを作成」をクリックします。



3) コレクション名を入力して「作成」をクリックします。



コレクションに追加

新しいコレクションを作成

名前

MyFirstCollection

説明

キャンセル 作成

4) コレクションが選択されていることを確認して「完了」をクリックします。



コレクションに追加

検索

MyFirstCollection

コレクションを作成 完了

5) 右上のメニューから「コンテンツ」をクリックします。



作成 QS

QS  
Qlik Space

アカウント設定

初期メッセージの表示

お気に入り

コンテンツ

ユーザーを招待する

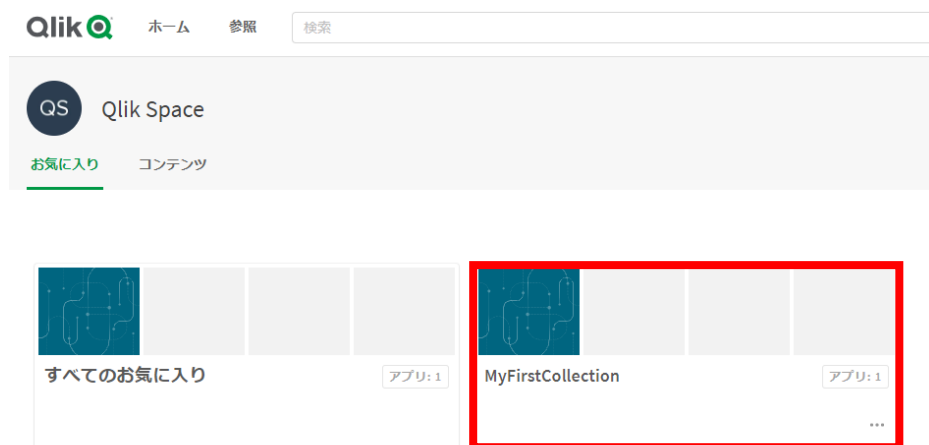
テナント設定

ヘルプ

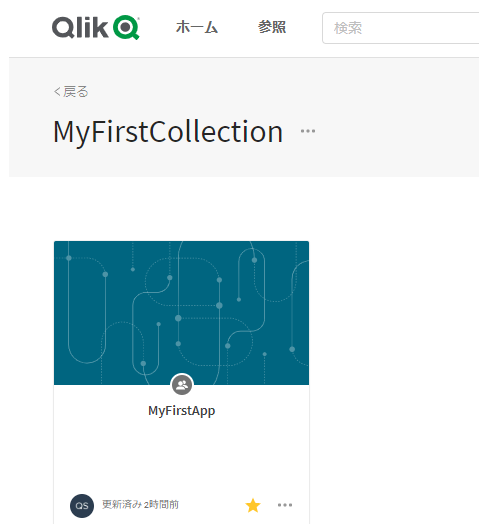
ログアウト



6) お気に入りがコレクションごとに纏められて表示されます。作成したコレクションをクリックします。



7) コレクションに含まれるアプリが表示されます。



## 9.他のユーザーの招待

他のユーザーに対してテナントの利用を許可するために、ユーザーを招待する手順を確認します。

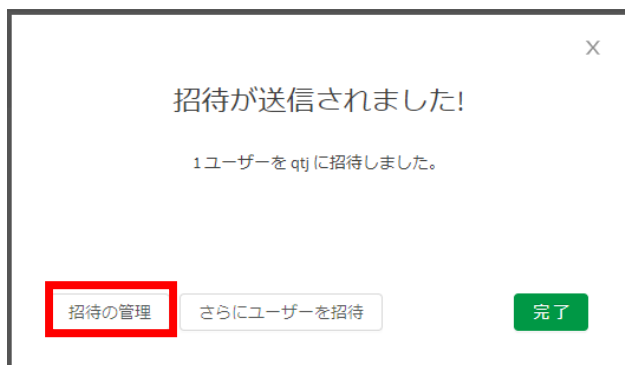
1) 右上のメニューから「ユーザーを招待する」をクリックします。



2) 招待するユーザーのメールアドレスを入力して「招待の送信」をクリックします。



3) 招待の送付が完了しました。状態を確認するために「招待の管理」をクリックします。



4) 以下の形で招待したユーザーがペンディングのステータスとなっていることが確認できます。招待されたユーザーが登録・ログインを行うとアクティブなステータスに変わります。

ユーザー							
すべてのユーザー		検索	テナント管理者の役割を削除		テナント管理者の役割を割り当てる		招待
	名前	ユーザー ID	メール	役割	ステータス	招待の有効期限	
<input type="checkbox"/>	Qlik Space	35f5kCwEh4CS1xoFPmUTGQfau		Tena...	アクティブ		...
<input type="checkbox"/>	招待済みユーザー	10y4hzV-lzslW6WtVQrCf6LFUj*			ペンディング	09/18/2019	...

## 10. スペースの作成

新たなアプリを開発する場合、他のユーザーと協力してチーム開発を行う場合がありますが、そのような場合にはスペースを作成して作業を行うのが効率的です。スペースを作成し、そのスペースにアクセスできるユーザーやユーザーの権限を指定することが出来ます。

1) ハブのトップ画面から「参照」を選択して「すべて」>「スペースを追加」をクリックします。



2) スペース名を入力して「作成」をクリックします。



3) メンバーの名称をボックスに入力してユーザーを検索して追加し、「閲覧可能」、「管理者」、「編集可能」のいずれかの権限を選択して「追加」をクリックします。必要なメンバーを追加後、「閉じる」をクリックします。



4) 以降はスペース右上の「メンバーを管理」からメンバーの追加・変更・削除を行うことができます。

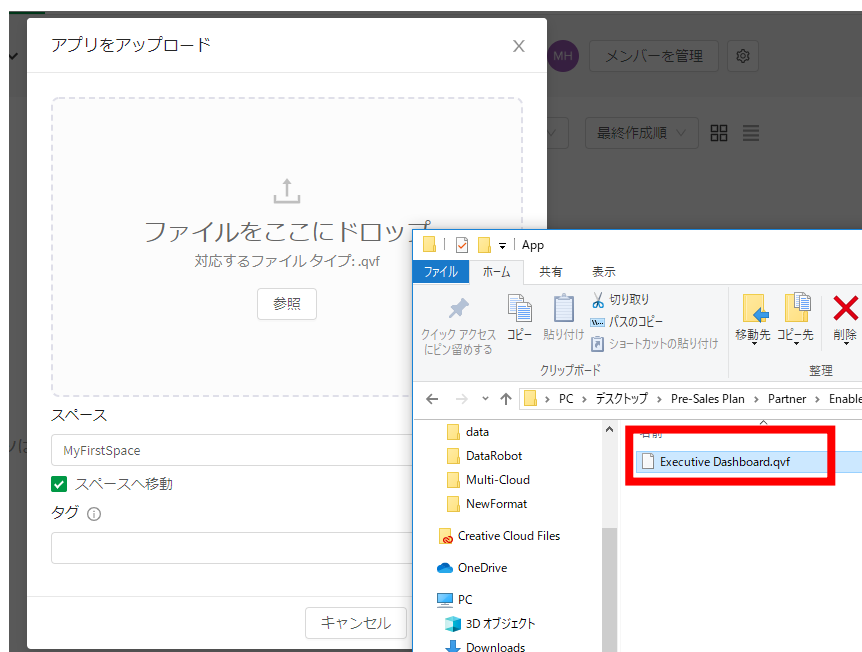


## 11. アプリのアップロード

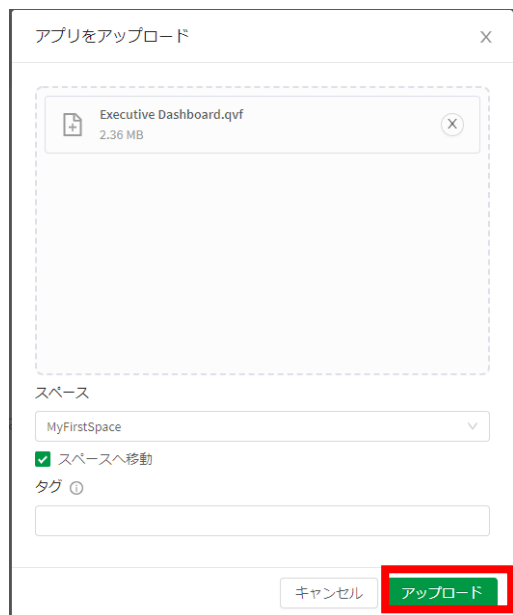
- 1) 先ほど作成したスペース上で「アプリのアップロード」をクリックします。



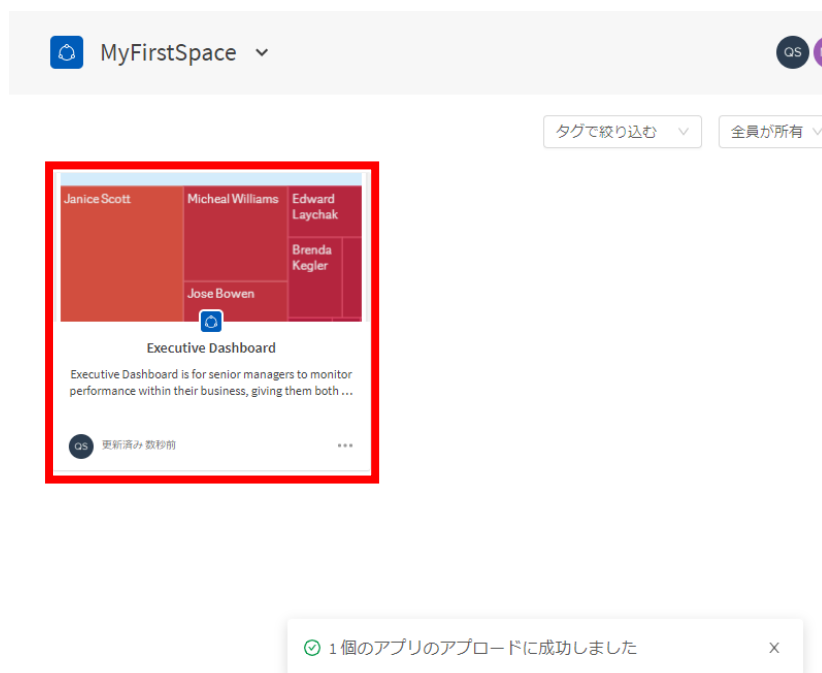
- 2) PC 上にあるサンプルアプリをドラッグ & ドロップします。



3) アップロードするスペースを確認し、「アップロード」をクリックします。



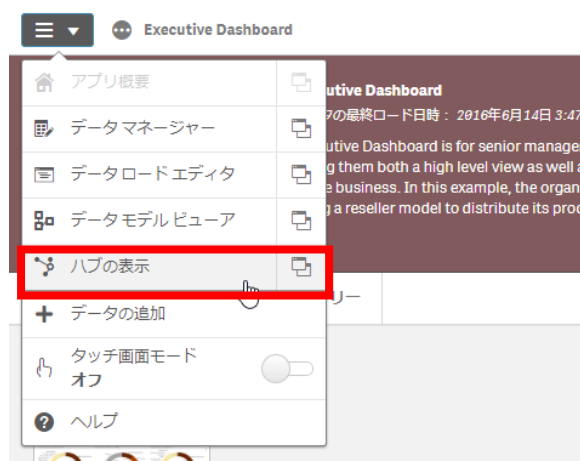
4) アップロードが完了後、アップロードしたアプリをクリックします。



- 5) アップロードしたアプリに含まれるシートは全てマイシートとして保存されています。シートを公開するには対象のアプリを右クリックし「公開する」を選択します。



- 6) ハブに戻るには左上メニューから「ハブの表示」を選択します。



## 12. テナントの設定

最後にテナントの設定を行う画面をそれぞれ確認します。

1) 右上のメニューから「テナント設定」をクリックします。



2) 「ユーザー」タブが表示されます。ここで、他のユーザーの招待やテナント管理者の権限付与・削除などを行うことができます。





- 3) 「ライセンス/ユーザーの割り当て」タブでは現状のライセンスやリソースの利用状況を確認することができます。

Qlik Management console

qtj

ライセンス/ユーザーの割り当て

概要 割り当て済みユーザー

ライセンス/ユーザーの割り当て

ライセンス/ユーザーの割り当てについての情報

割り当て

2	50
消費分	合計

有効期限

2019/10/10

クォータ

共有スペース

1	5
消費分	クォータの上限

インメモリアプリのサイズ

1250000000 bytes

- 4) 「割り当て済みユーザー」をクリックすると、ライセンスの割り当て状況を確認できます。ここで新たなライセンスの割り当ても行うことができます。

Qlik Management console

qtj

ライセンス/ユーザーの割り当て

概要 割り当て済みユーザー

割り当てを削除 Professional アクセスの割り当て 割り当ての追加

	名前	ユーザー ID	IdP サブジェクト	ライセンス	ステータス
<input type="checkbox"/>		:	auth0	professional	
<input type="checkbox"/>			auth0	professional	

5) 「スペース」タブでは現状のスペース利用状況を確認できます。

Qlik Management console

qtj

- ガバナンス
- ユーザー
- ライセンス/ユーザーの割り当て
- スペース**
- スケジュール
- イベント
- コンテンツ
- テーマ
- 統合
- ウェブ
- 構成
- 設定

### スペース

概要 スペース

#### スペース情報

共有スペース  
1

管理されているスペース  
0

最後に作成されたスペース:  
2019/09/11

#### スペースとは?

スペースとは、ストレージとアプリ開発のためのエリアです。

6) 「スケジュール」タブではスケジュールの状況確認や有効化・無効化などの作業を行うことができます。

Qlik Management console

qtj

- ガバナンス
- ユーザー
- ライセンス/ユーザーの割り当て
- スペース
- スケジュール**
- イベント

### スケジュール

削除 表示

	アプリ	前回の実行	次回の実行	ステート	ステータス
<input type="checkbox"/>	MyFirstApp	2019/9/10 21:00	2019/9/11 21:00		<input checked="" type="checkbox"/> 有効化済み

7) 「イベント」タブではログインやライセンス付与といったシステム上のイベント一覧を確認することができます。

Qlik Management console

qtj

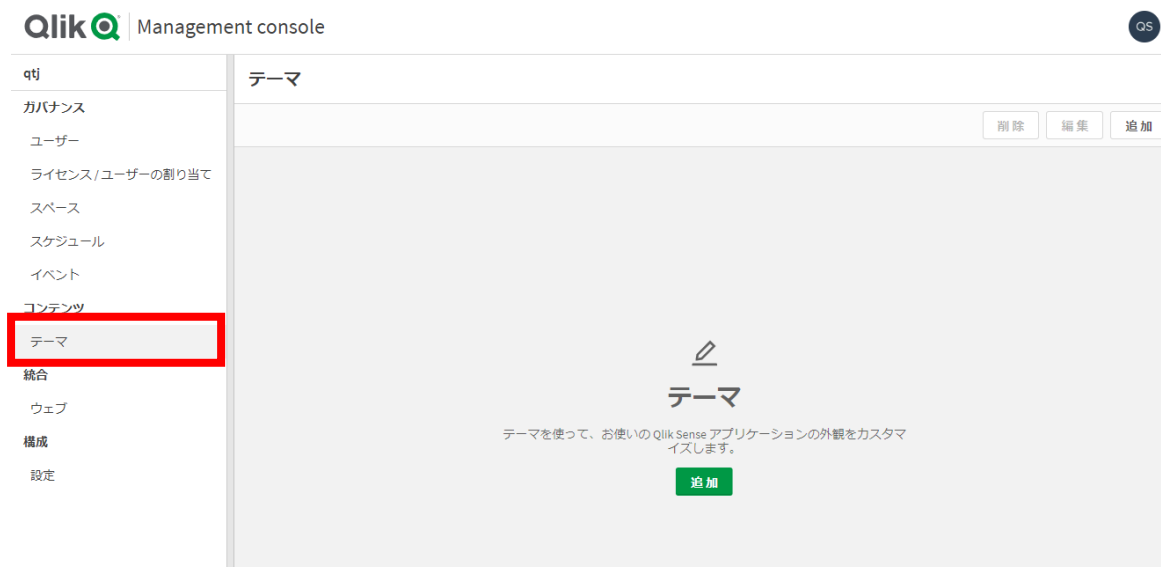
- ガバナンス
- ユーザー
- ライセンス/ユーザーの割り当て
- スペース
- スケジュール
- イベント**
- コンテンツ
- テーマ
- 統合
- ウェブ
- 構成

### イベント

最新の情報に更新 リセット

日付	ソース	イベントタイプ	ユーザー
2019-09-11T09:01:46Z	com.qlik/spaces	com.qlik.space.read	Qlik Space
2019-09-11T09:01:45Z	com.qlik/spaces	com.qlik.space.read	Qlik Space
2019-09-11T09:00:49Z	com.qlik/spaces	com.qlik.space.read	Qlik Space
2019-09-11T09:00:49Z	com.qlik/spaces	com.qlik.space.read	Qlik Space
2019-09-11T09:00:37Z	com.qlik/spaces	com.qlik.space.read	Qlik Space
2019-09-11T09:00:37Z	com.qlik/spaces	com.qlik.space.read	Qlik Space
2019-09-11T08:54:21Z	com.qlik/spaces	com.qlik.space.read	Qlik Space
2019-09-11T08:54:19Z	com.qlik/spaces	com.qlik.space.read	Qlik Space
2019-09-11T08:54:19Z	com.qlik/spaces	com.qlik.space.read	Qlik Space
2019-09-11T08:54:00Z	com.qlik/spaces	com.qlik.space.read	Qlik Space

8) 「テーマ」タブではアプリの外観をカスタマイズするためのテーマを管理することができます。



9) 「ウェブ」のタブは組み込みアナリティクスを利用する際のホワイトリストの設定などを行います。



- 10) 「設定」タブでは ODAG やグループの有効化・無効化を行うことができます。

Qlik Management console

qtj

ガバナンス

ユーザー

ライセンス/ユーザーの割り当て

スペース

スケジュール

イベント

コンテンツ

テーマ

統合

ウェブ

構成

**設定**

**On-demand アプリ生成 (ODAG)**

**ODAGの有効化**

選択アプリをテンプレートアプリと接続するナビゲーションリンクから、Qlik Sense ハブ内で On-demand アプリが生成されます。On-demand アプリを生成するには、On-demand アプリ サービスが有効化されていなければなりません。

**グループ**

**グループの作成を有効化**

グループ クレームが含まれた有効な ID プロバイダーがあればグループが作成されます。



#### About Qlik

Qlik is on a mission to create a data-literate world, where everyone can use data to solve their most challenging problems. Only Qlik's end-to-end data management and analytics platform brings together all of an organization's data from any source, enabling people at any skill level to use their curiosity to uncover new insights. Companies use Qlik products to see more deeply into customer behavior, reinvent business processes, discover new revenue streams, and balance risk and reward. Qlik does business in more than 100 countries and serves over 48,000 customers around the world.

[qlik.com](http://qlik.com)

**NOTE – Please ensure you get always the latest copyright line from the brand portal.** © 2018 QlikTech International AB. All rights reserved. Qlik®, Qlik Sense®, QlikView®, QlikTech®, Qlik Cloud®, Qlik DataMarket®, Qlik Analytics Platform®, Qlik NPrinting®, Qlik Connectors®, Qlik GeoAnalytics®, Qlik Core®, Associative Difference®, Lead with Data™, Qlik Data Catalyst™, Qlik Associative Big Data Index™ and the QlikTech logos are trademarks of QlikTech International AB that have been registered in one or more countries. Other marks and logos mentioned herein are trademarks or registered trademarks of their respective owners.